



金城学院中学校・高等学校 校長

長屋 頼子

金城学院中学校、高等学校、金城学院大学文学部社会学科を卒業。1988年中学校教諭、1996年高等学校教諭。2012～13年金城学院高等学校教頭、2012～17年学校法人金城学院評議員。2014年～金城学院高等学校副校長。2018年～金城学院理事・金城学院中学校・高等学校校長に就任。



中学校・高等学校
校長メッセージ

「科学的思考」「表現」「協働」。 今、この時代だからこそ求められる3つの力。

～第3期中期計画のめざすもの、重点的施策は～

3つの力を身につけ、主体的に生きる力を養う。

金城学院中学校・高等学校では「聖書に基づいたキリスト教教育」を礎に「社会に参画し、主体的に生きる女性」を育成することを使命としています。中でも私たちが大切にしているのは、生徒たちが6年間の学びの中で「科学的思考」「表現」「協働」の3つの力を育んでいくことです。「科学的思考」とは、疑問を持ち、課題を立てて情報を集め、それを分析し、よりよい解決策を生み出す思考力のことです。そして、これらの思考や疑問、探究を通して考えたことを自分の言葉や論理的な文章で伝えることが「表現」です。さらに、自分の考えを明確に伝え、相手の考えを聞く中から新たな発見をしたり、他者とともに目標を達成していくことが「協働」です。

本校の将来像や教育の在り方を示した第3期中期計画では、この3つの力を養うために公開授業を実施し、互いの授業の改善を進めることを明示しました。加えて、6年一貫カリキュラムのさらなる推進を図ることと、本校の教科教育の柱となる「Dignity(総合的な学習・探究の時間)」については、これを土台に全ての教科、教育活動の中で「言語技術」「課題研究力」を育成することを目標としました。

■ 第3期中期計画(2020～2024年度)

1 教育研究の推進と学習支援

- キリスト教主義による全人教育の推進
- 生徒支援の推進
 - 1 教科教育の研究・充実
 - 2 カリキュラムマネジメントの推進
 - 3 中高連携した進路指導体制の整備・充実
- 生徒の受入の推進
- 教学マネジメント体制の推進
 - 1 カリキュラム研究部における探究力育成の研究
 - 2 探究学習や観点別評価に対応するための教師研修会の実施

中学校
高等学校
アクションプラン
概要

2 地域社会との共生

- 産学官連携、地域連携

新学習指導要領と大学入試改革に呼応した 教科教育の研究・充実をさらに推進。

グローバル化やAIの進化など、社会の構造が大きく変化する中、中学校では2021年度から、高等学校では2022年度から新しい学習指導要領がスタートしますし、大学入試制度も大きく変わります。新学習指導要領では、育成すべき資質・能力として「知識および技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の3つを挙げています。知識はもちろん、思考力・判断力・表現力、さらには主体性を持って多様な人々と協働する力がより求められるようになりました。これはまさに本校が従来より行っている教育そのものであり、新しい大学入試制度にも対応する教育であると自負しています。

こうした情勢を踏まえ、中期計画においても、中学校では引き続き基礎学力の定着と探究活動の充実を、高等学校では新学習指導要領に向けた新教科「理数探究」「論理表現」の実践研究を推進していきます。また、ICTを活用した新たな授業展開についても、中高を通してさらに力を注いでいきます。

希望を描いて前に進んでいきましょう。

金城学院の一日は礼拝で始まります。牧師や先生のお話を聞き、讃美歌を歌い、祈ります。週1時間の聖書の授業では、人間としての在り方や生きる意味を考えます。生徒たちは初めは分からないかもしれませんが、その学びは大人になったときに必ず心の支えになってくれるはずです。

コロナ禍の影響で愛する生徒の皆さんと会えない日が続きましたが、始業礼拝で読んだ聖書箇所最後には「その中で最も大きいなるものは、愛である。」とあります。「皆さんは神さまと多くの人から愛されてここまで成長してきました。これからはぜひ『愛』を届ける皆さんであってください。そして、こういう時だからこそ、希望を描いて前に進んでいきましょう」と生徒たちに語りました。